Utility X

Utility X Brand Logo Guideline

ブランドロゴガイドライン Version 1.0（2026.9）

LiLz

はじめに

本ガイドラインは、Utility Xのブランドを形づくるためのビジュアル・アイデンティティ体系です。
ロゴ、カラー、タイポグラフィなどの視覚要素を一貫して正しく使用し、ブランド価値をより高めていきます。

あらゆる場面で統一された印象を生み出すために、本ガイドラインに定めるルールに基づいてご使用ください。あらゆる制作物は、本ガイドラインに沿ってクリエイティブの確認を行っております。本ガイドラインに記載のない用途や、当社が不適切と判断した使用については、掲載後であっても修正等をお願いする場合がございます。あらかじめご了承ください。

ブランドロゴ

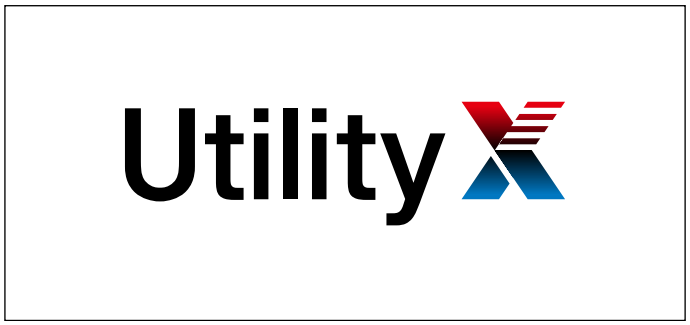
Utility Xを表すシンボルです。



ブランドロゴの種類

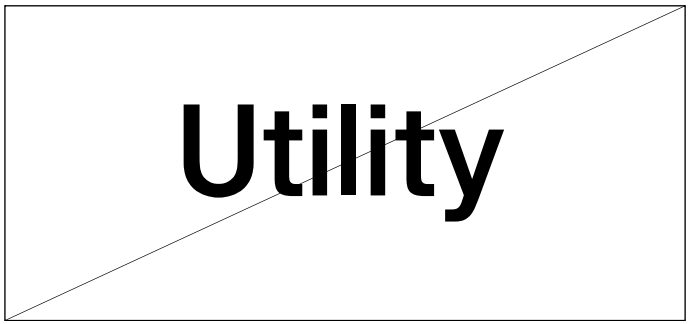
使用可能なロゴの種類を示します。

基本的にはブランドロゴを使用してください。ブランドロゴマークは、アイコンなど一部の例外的な用途に限り使用可能です。
ブランドロゴマークの使用にあたりご不明な場合は別途ご相談ください。
なお、ロゴタイプのみでの使用はいかなる場合も禁止とします。



ブランドロゴ

Utility Xの正式ブランドロゴ。
基本的にこの組み合わせを使用します。



使用禁止：ブランドロゴタイプ

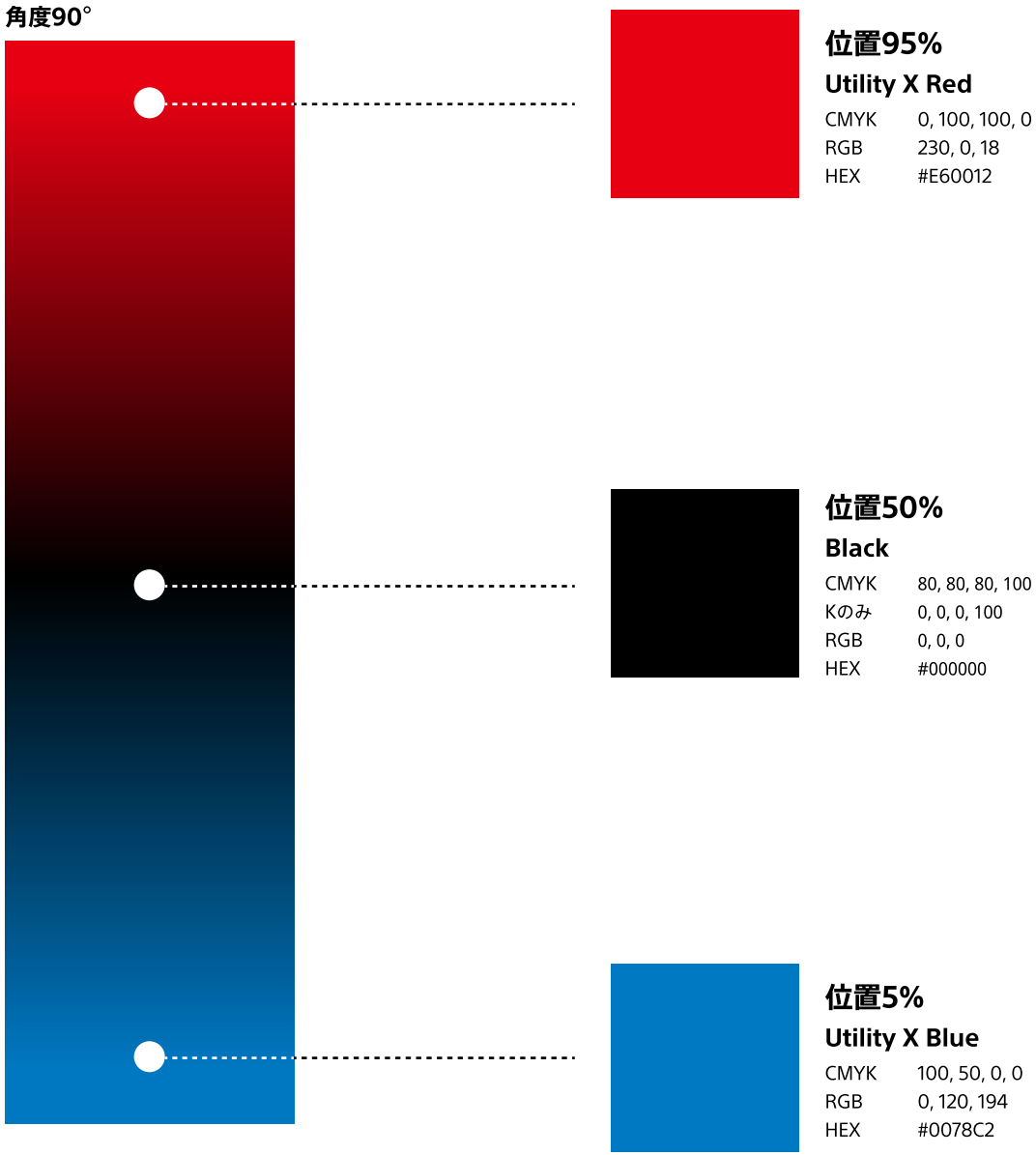
ブランドロゴタイプのみ単独での使用はできません

ブランドカラー

ブランドカラーは、視覚的な統一性を保つ上で重要な役割をはたします。

Utility X では、温度の変化を想起させる「青から赤へのグラデーション」を採用しています。グラデーションを使用する場合は、本原則に従ってください。

冷たいものが下、熱いものが上に位置する自然な状態を表現するため、特別な理由がない限り、下から上に向かって青から赤へと変化する方向で使用します。



カラー適応

ブランドロゴのカラー使用に関する基準を示します。

ブランドロゴは、基本的にフルカラーでの表示を原則とします。
ただし、媒体の特性上より広い表現効果を期待する場合や、印刷時の制約、制作コストの都合などによりフルカラーの使用が難しい場合は、例外的にモノトーンを使用を認めます。
シルバーや箔押し、エンボス加工など素材そのものの色を活かす特殊加工を行う場合は、別途ご相談ください。

基本表示色



フルカラー（ポジ）



フルカラー（ネガ）



モノトーン（ポジ）



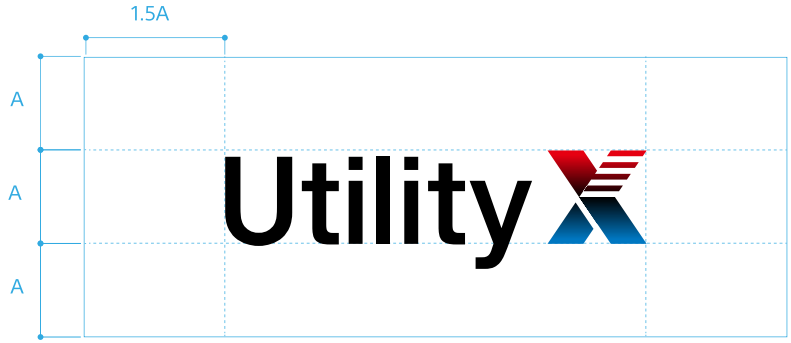
モノトーン（ネガ）



アイソレーション

ブランドロゴが他の要素に埋もれたり、印象を損なったりしないように設けた保護領域を示します。

ブランドロゴの独立性と視認性を確保するため、周囲には一定の空白を設けてください。この空白領域内には、文字や図形、写真などの要素を配置しないでください。
また、ブランドロゴの印象を損ねるような強い色や形状を近くに配置することも避けてください。



AZ1 単独で扱う場合（推奨）

基本的にスペースに余裕がある場合は
このアイソレーションを使用してください



AZ2 他要素と組み合わせて使う場合

他社ロゴと組み合わせる場合や、
名刺や記載面積が限られている場合



AZ3 最小

AZ1・AZ2ではどうしてもレイアウトできない場合

最小使用サイズ

印刷物におけるロゴの最小使用サイズを示します。

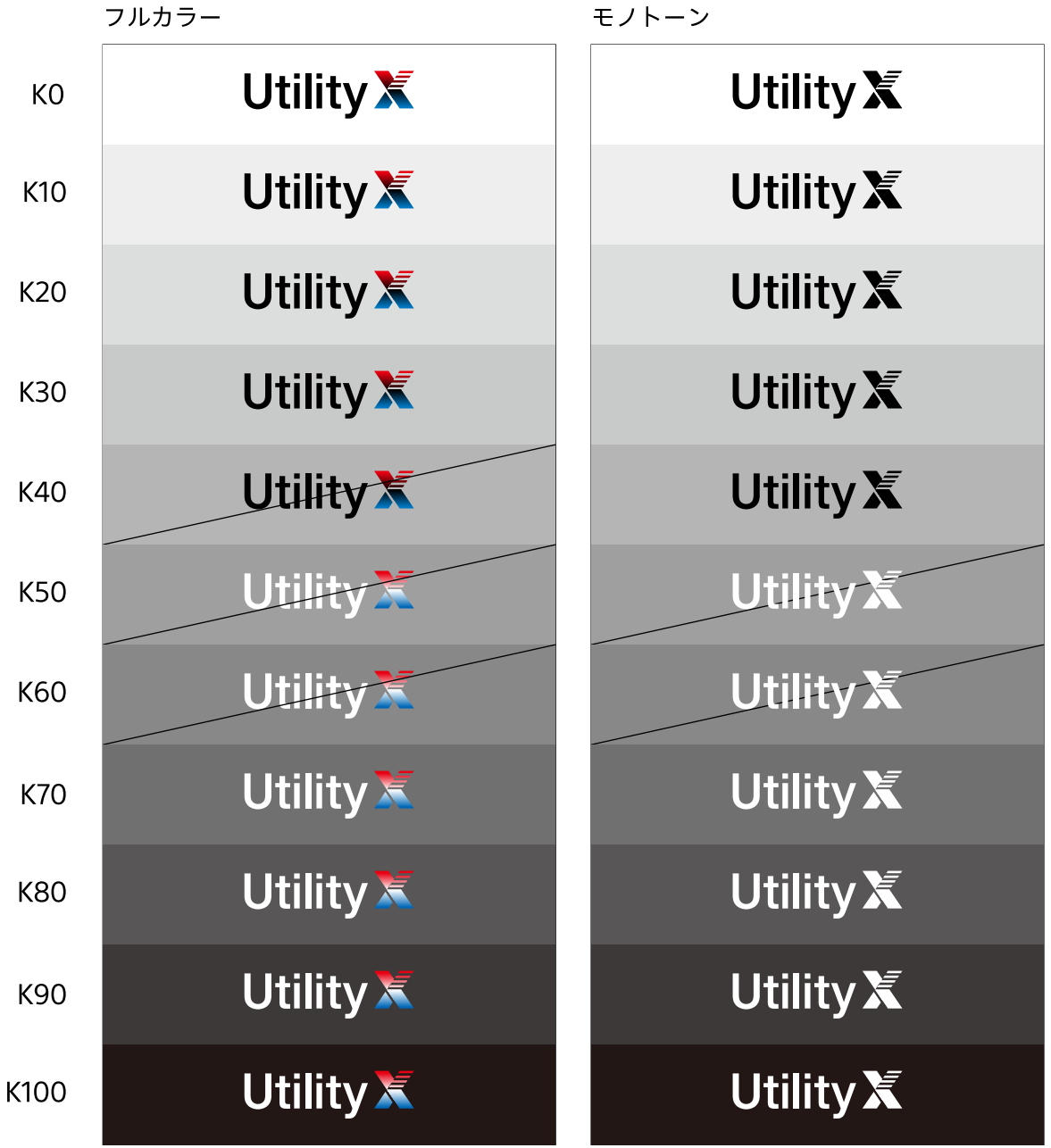
規定より小さいサイズでは、細部がつぶれて判読性や再現性を損なうおそれがありますので、使用しないでください。
印刷物以外の用途については、媒体や環境により条件が異なるため特別な基準は設けていませんが、各用途において再現可能な範囲を最小使用サイズの目安としてください。



表示色と背景色の関係

背景色に応じて、どのカラーのブランドロゴを使用すべきかを示します。

ブランドロゴを表示する際は、コントラストが十分に確保できない表示を避け、右図を参考に常に明瞭に表示してください。
表示色と背景色の関係は、紙質やインクの濃度などによって異なる場合があります。
右図は参考値として、最終的には実際の色調で判断してください。



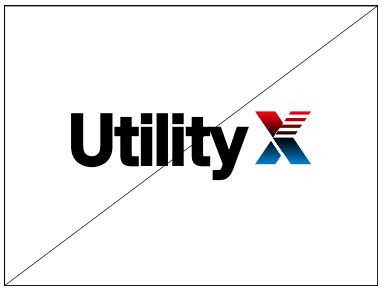
使用禁止例

ブランドロゴを正しく表示するための使用禁止例を示します。

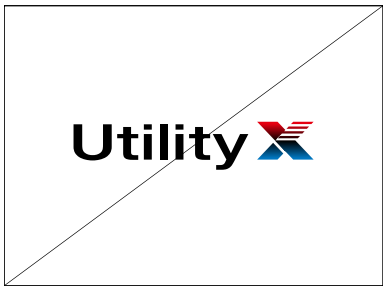
ブランドロゴを適切に使用することは、Utility Xブランドの一貫性を保つうえで重要です。右図に示したような誤った使用方法は、ブランドイメージを損なうおそれがありますので、絶対に行わないでください。



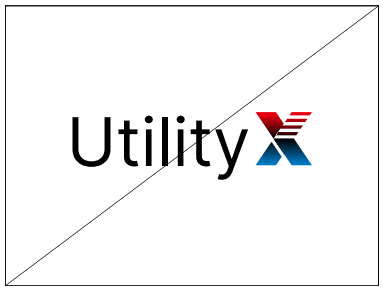
本ガイドライン指定以外の色を使用しないでください



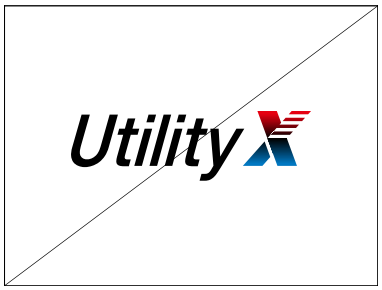
太さを変更して使用しないでください



縦横比を変えて使用しないでください



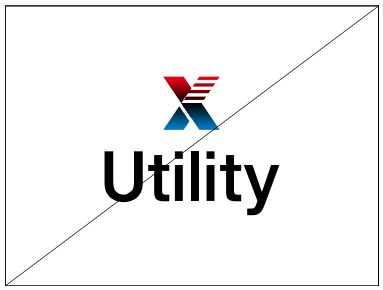
ロゴタイプの書体を変えて使用しないでください



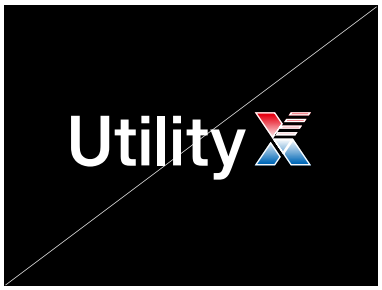
斜体や比率を変えて使用しないでください



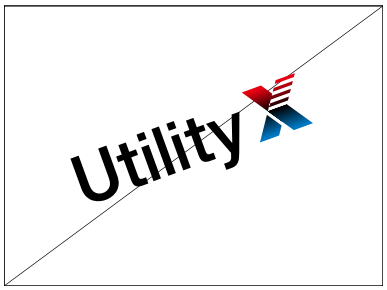
シャドウ・エンボスを施さないでください



ロゴの位置を変えて使用しないでください



ふち取りで使用しないでください



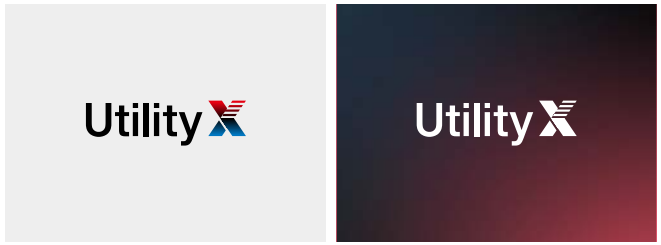
回転させて使用しないでください

背景に対する表示

柄のある背景上でのブランドロゴの使用基準を示します。

ブランドロゴの背景は、基本的に単色を使用することを推奨します。ただし、柄のある背景に配置する場合は、右図を参考に、ブランドロゴが背景と十分なコントラストを保ち、正しく認識できることを確認してください。

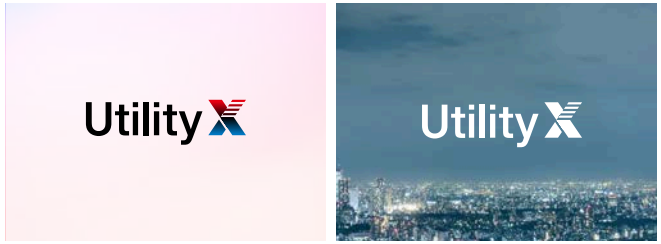
ブランドロゴがはっきり認識できる



背景との明度差が充分担保された状態

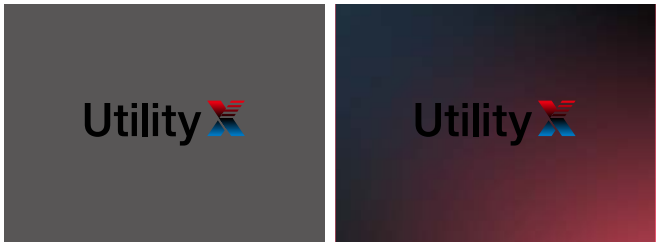


背景との明度差が充分にあり、AZゾーンが担保された状態



背景の柄を重ねず、ブランドのロゴが正確に認識できる状態

ブランドロゴがはっきり認識できない



背景との明度差が充分に担保されていない状態



背景との明度差が少なく、AZゾーンを犯す状態



背景の柄が重なり、ブランドのロゴが正確に認識できない状態

改訂履歴

2026年9月

Version 1.0 公開



テクノロジーで、世界の現場を一歩前に